

初めての歌舞伎レクチャー ～歌舞伎の世界へご招待～

日本が世界に誇る伝統芸能・歌舞伎。もとは江戸時代に始まった、庶民の娯楽でした。
歌舞伎の所作、立ち回り、付け打ち…独特の世界をのぞいてみませんか？
歌舞伎の基本知識や魅力を余すところなくお伝えします。

レクチャーの一例

【歌舞伎の幕が開くまで】

幕開きの幕切れのチョンという木の音。舞台進行の役割以外にも、知られていない大切な役目を担う狂言作者さんの柝の仕事のご紹介。

【歌舞伎の舞台の様子】

役者がいろんな場所から登場したり、時には空を飛んだり、大海原を泳いだり、演目によってさまざまな変化する歌舞伎の舞台。上手・下手・花道・所作台・舞台用語と歌舞伎独特の舞台を学びます。

【歌舞伎の音楽】

歌舞伎の演奏で用いられる三味線や小鼓、大太鼓などの代表的な楽器の紹介。この音は何？海や川、山の中、お祭りの様子など、芝居のバックグラウンド音楽、歌舞伎囃子の世界を体験してみましょう。

【歌舞伎に親しむ・大向うに挑戦！】

「松嶋屋！」「成駒屋！」----。歌舞伎の客席から、どこともなく大きな声が舞台に飛んでくる。絶妙な間合いをつかんで芝居を盛り上げるこの「大向う」。約束事やルールを知り、大きな声で歌舞伎役者に掛けてみましょう！

【役者体験】

侍・町人・町娘・お姫様・老婆。様々な役を兼ねる歌舞伎の役者。その姿勢から動き・化粧声の出し方など、基礎から知って動いてみましょう。あなたも歌舞伎役者になりたくなるかも！

【付け打ちの実演&体験】

バタバタ。パツパツ。見得や大立廻りで、役者を押し出しお客様を惹きつける役目の付け。役者だけではなく、音楽・大道具・小道具・衣装などの効果に関わっています。その効果を役者さんとの一場面をお見せし、打ち方体験の挑戦してみましょう。

【みんなで歌舞伎】

立廻り・セリフ。役割りを決めてよく使われる歌舞伎の場面を参加者全員で作って発表してみよう。

【質問コーナー】



—付け打ち体験—



—役者体験—



—立ち廻り体験—

◆出演者例

歌舞伎付け打ち 山崎 徹 (やまさき とおる)

古典・新作の歌舞伎に携わりながら、その経験を活かし多彩な分野でチャレンジを続けている。2002年から「付け打ち委員会」を社内に立上げ、後進の育成にあたる。また、付け打ちから見た平成のいまの歌舞伎の楽しさを伝える為「付けの會」を主宰し、全国各地でレクチャー・ワークショップを開催中！



歌舞伎俳優 中村 橋吾 (なかむら はしご)

屋号・成駒屋 一般家庭から歌舞伎の世界に入るため、平成10年国立劇場第15期歌舞伎俳優研修生となり、平成13年中村橋之助(現・中村芝翫)に入門。歌舞伎座を中心に全国の劇場、平成中村座、コクーン歌舞伎、海外公演で活躍を重ね平成25年名題昇進。



歌舞伎俳優 尾上 緑 (おのえ みどり)

女方。世話物の娘役も、時代物の腰元なども、どんな役でもきちんと勤めて行儀がいい。伝統歌舞伎保存会の研修発表会で『弁天娘女男白浪』の赤星十三郎を演じた。名題に昇進し、菊五郎劇団の女方としてこれからの成長が楽しみ。松緑の後見でも信頼されている。

